

10月の果実の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
みかん類		12,669	102	16,387	201	77	188	-	-	熊本、長崎、佐賀産中心の入荷となる。熊本は極早生品種「肥のあかり」が9月下旬からの入荷で肥大も良好。長崎は「岩崎早生」が10月上旬から入荷で肥大も良好。今年は表年にあたるが全体の入荷量は前年並み、価格は前年より大幅に下回る見込み。
りんご類		7,809	90	8,972	276	100	251	1,705	21.8	青森、山形産中心の入荷となる。品種はふじ、シナノスイート、秋陽、王林など種々出揃う。各産地ともに前年の猛暑で花芽が少なく、生産量は前年比1～2割減の見込み。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並み見込み。
りんご(ふじ)		1,710	90	1,643	303	100	298	264	15.4	青森、山形産中心の入荷となる。青森は弘前ふじは春先の低温などにより前年より2日程度の遅れ。山形は前年の猛暑で花芽が少なく、生産量は前年比2割減の見込み。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並み見込み。
かき類		6,750	120	9,185	320	85	246	131	1.9	和歌山、奈良、新潟、愛知産が中心となる。種なし柿は和歌山、奈良ともに生育はやや遅れ、台風の影響もあるが入荷量は前年より多い見込み。全体の入荷量は不作だった前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。
ぶどう類		2,234	95	2,180	773	80	643	122	5.5	長野、山梨、岡山産が中心となる。品種は巨峰、ピオーネ、アレキサンドリアなど。長野は小房傾向。山梨は台風などの影響で出荷量は前年を2～3割程度減の見込み。全体の入荷量は前年よりやや下回り、価格は前年より大幅に下回る見込み。
メロン類		1,009	100	1,126	412	105	438	78	7.7	茨城、北海道、静岡、山形産が中心となる。品種はアールスメロン、アンデスなど。茨城は台風の影響も殆んど受けず作柄は良好。北海道は作柄良好で例年並みの入荷見込み。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや上回る見込み。
西洋なし(ラ・フランス)		574	120	797	313	78	282	381	66.4	山形、長野産中心の入荷となる。山形はやや生育遅れだが夏場が暑かったためデンプンが多く、良食味期待。長野はやや生育遅れで第3週から2週間程度の販売を予定。全体の入荷量は前年より大幅に上回り、価格は前年より大幅に下回る見込み。